

顎下腺腫瘍摘出術 を受けられる方へ

◆ 私たちは、入院生活や治療が順調に進むように下記の計画に基づき援助します。

お名前 @{Patient.Name} 様

主治医

日付		入院前	入院日（ / ）	手術当日（ / ）		術後1日目（ / ）	術後2～6日目	7日目	退院後
				手術前	手術後				
目標・退院基準			手術に向けて準備ができている		傷からの出血量に問題がない 呼吸の状態が安定している	傷からの出血量に問題がない 呼吸の状態が安定している 傷からの感染がない 問題なく食事が再開できる	傷からの出血量に問題がない 傷からの感染がない 問題なく食事ができる	傷からの感染がない 問題なく食事ができる	退院後の生活の注意点がわかる
検査			必要時手術に必要な検査を行います （採血、レントゲン、心電図）				必要に応じて検査を行います		
処置					医師が部屋で傷の状態を確認します	診察室で朝の診察があります			
注射				必要に応じて点滴を入れてから 手術室に入室します	点滴が持続的にあって、抗生剤の投与も行います	食事がとれていたら点滴は終了になります			
内服薬		医師の指示の通り内服してください	通常通り内服してください	医師より指示のあった薬のみ OS-1で飲んでください		診察後より医師の指示があった薬が再開となります	基本的には通常通りの内服薬に戻ります		医師の指示通り内服してください
食事		制限はありません	夕食までは通常通り摂取して頂けます 21時以降は絶飲食となります		食べたり飲んだりできません	診察後よりおかゆが開始となります	制限はありません		制限はありません
飲水制限		制限はありません	21時までは制限ありません 21時以降はOS-1のみ飲むことができます	（ : ）までOS-1を飲むことができます		診察後より飲水できます			制限はありません
活動	安静度	制限はありません	制限はありません	病棟内で自由にお過ごしください	ベッド上で安静です	朝から看護師と一緒に身体を動かします	制限はありません		制限はありません
	排泄				尿道に管が入ってきます	身体を動かして問題なければ尿道の管は抜けます			
	清潔		シャワーに入ってください	シャワー浴はできません		シャワーには入れないので、清拭をします	傷の管が抜けたらシャワーに入れます		
教育説明 その他			喫煙している方は禁煙をお願いします 手術に必要な物品の用意をお願いします □OS-1 2本 □テープタイプのおむつ 1枚	朝起きたら病衣とお渡しした弾性ストッキングに着替えをお願いします	傷の所に血を溜めないための管が入ってきます 身体の下敷きになったり引っ張ったりしないように気を付けてください				傷のまわりが赤くなったり腫れたり痛みが増したとき、熱が38度以上になったときには病院に連絡してください
備考						お大事になさってください			



この説明用紙は、治療のおおよその経過をお知らせするものです。状態に応じて予定が変更になることがあります。

ご不明な点がございましたら、お気軽におたずねください。